

2020年 4月 4号 関電疑惑を許さない! いのちを守る教育を! 平和憲法を守る!



コロナショック アベノミクス雇用に影響

経済報告「改善」削除7年9ヵ月ぶり

私の経験測では、好景気と不景気は、おおむね7年周期で現れて来ます。人事院勧告が連続して上昇すると、これが不景気の前ぶれに成る。新型コロナウイルス感染が話題になる前に、議会事務局でこの7年周期の話しをしました。「経験則では、『いつ崩壊しても』不思議でない時点に来ている。」と話しました。既に崩壊している経済を「安倍政権が無理やり株価を維持している状態」と、議会事務局の応接で話しました。

4月月例経済報告で標記のように、7年9ヵ月ぶりに『改善』を削除したと新聞報道されました。「上った坂は、いずれ下がる」理屈ですが、その引き金が「感染症」になるとは。感染初期段階で、政府は「景気のV字回復」を幻想して、閣僚発言にも感染予防よりも「景気への悪影響や回復」に。自民党発言の順番も「景気対策」が一番、二番が「感染予防」でした。しかし、識者が数年はかかる（景気回復は）と言い始めた。

いくつ 超えたか 2週間の山

思考停止状態の内閣?

「ここ2週間が山」と言われて、越えた山は幾つになるでしょう。「アベノマスク」は完全配付されないまま「回収」となる愚策。医療現場の「マスク不足」ニュースは毎日。政府の愚策に各首長がしびれを切らして、独自判断をし始めました。独自判断の出来ない首長は、感染終息の後に存在価値を問われる事になります。

張り紙をして、柳ヶ瀬の飲食街が休業し50万円を給付される準備に入りましたが、その店に酒を納入している酒屋さんは「開店休業ですが、私の店は50万円頂けるのでしょうか?」と。結婚式を新型コロナで延期にしたら「式費用、全額先に払ってと言われて困っている」との相談や、「37~38度、1週間あるが、検査してくれない。」と電話が入る。また、「県境を越えてパチンコに行くな! は解かるが、お参りは良いのか?」とも電話が入る。内閣への信頼は? と、家族の理解は?

岐阜市の水道基本料金は 11億円余

イベント予算の組み替えが必要となります。新型コロナ対策費に組み替える必要が生まれました。政府予算の受け皿だけでなく、市独自の対策を、スピード感を持って出さなくては。水道基本料金の無償化や、学校給食費の無償化（学校開校の目処まだですが）岐阜市の上水道基本料金は11億7千万円余、下水道基本料金は15億円余です。

他自治体では新型コロナ対策として、水道料金や学校給食費で市民の生活支援、子育て支援に踏み出した自治体が現れました。

連絡先 岐阜市議会議員 松原のりかず 岐阜市沖ノ橋町1-21 でんわ 253-2500

危機管理は誰の仕事

「リーマンショック以来」から「世界恐慌以来」へ、と報道の論調が変化して来ました。直面している問題は、命の問題です。「医療崩壊」に関する報道が毎日です。首長は情勢の変化に敏感でなければ、災害危機管理は訓練もされ職員もマニュアルに沿って行動し、想定された結果を出せます。感染症対策で「役所閉庁も想定」行動には、マニュアルを説明された記憶がありません。事業継続には首長の指導性が問われます。

平時ではなく、危機の時に管理職の能力が試されます。「言われた事だけ消化している管理職と首長」が浮き彫りになります。岐阜新聞（4月27日）の見聞き記事で2020年度予算の宣伝記事が掲載されました。本年度予算は昨年平時に立てられた予算。「世界恐慌」に対応した予算ではありません。「新幹線の乗車率がゼロ」の時に、「市街地ににぎわい」「観光資源、安全性高める」の見出しと記事。

保健所のクラスター対策本部 市民病院

市民の命を守る行政 前面では

V字回復は、まだ後と思われます。「麒麟が来る」は、好きですし毎回2回見っていますが、全国情勢の激変は如何ともし難い。予算の組替えも、記事の組み替えも必要でした。現在、日付変更線まで、毎日の激務に臨んでいる保健所のクラスター本部記事を真ん中に掲載された方が、市民の理解も得られ、職員の士気も上がったと思われます。

「決めた事を、変更しない」だけでなく、「即時、変更する」勇気が必要。写真も、岐阜城も良いが、保健所の本部写真の方が時節に合っていました。

「いじめ対策監」へ新規採用常勤講師（市費）から任命5人

昨年の「いじめ」を原因とする中学3年生男子生徒の自死事件から、新年度予算で各学校に「いじめ対策監」を配置するとされ、配置された「いじめ対策監」の教師に換わって「授業を担当する」講師を市費で雇用するとされていました。しかし、

現職教師から選出せず、新規に採用の講師（60歳代）から「いじめ対策監」が選出された学校が東長良中学はじめ5校。この学校では現職に適任者が居なかった事に。講師は1年雇用であり、「いじめ対策監」の仕事が、単年度雇用の不安定な教員に委ねられた。校長が現職教師から「これはと思う人」を見出せなかったのも、悲しい現実。



松原のりかず

☎058-253-2500